



# ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

## No. 270

\*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。

【書名の後の ( ) の数字は (請求記号 保管場所 資料番号) です。】

(問) 戦前の池袋に芸術家たちが集った「池袋<sup>いけぶくろ</sup>モンパルナス」というアトリエ村があったらしい。このアトリエ村の始まりと名前の由来を知りたい。

(答) 検索端末<sup>けんさくたんまつ</sup>のトップ画面にある「なんでも検索」を使って資料を探してみましょう。「なんでも検索」では、タイトルや目次などの書誌情報に検索したキーワードが含まれる図書と雑誌を確認することができます。

なんでも検索 ⇒ 池袋<sup>いけぶくろ</sup>モンパルナス ⇒ 11件ヒット

『東京の戦前 昔<sup>むかし</sup>恋しい散歩地図』(213.6/A25/1 開架大型 060002306)

『豊島区史 通史編 2』(213.6/To46/2 閉架一般 000021337)

こちらの図書に「池袋<sup>いけぶくろ</sup>モンパルナス」の始まりについて書かれています。

件数が多く、どの資料を読むか<sup>なや</sup>悩む時は、検索結果の「並べ替え<sup>か</sup>」をしましょう。今回は郷土の歴史について調べていますので、東京都に関する歴史資料を指す請求記号「213.6」を探すため「請求記号順」に並べ替えました。

次は池袋がある「豊島区」など、関連するキーワードに変更<sup>へんこう</sup>して検索してみます。

なんでも検索 ⇒ 豊島区<sup>とよしまく</sup> アトリエ ⇒ 9件ヒット

『東京田園モダン』(361.78/Mi67 閉架一般 000061203)

こちらの図書に名前の由来が書かれています。

また、野見山<sup>のみやまぎょうじ</sup>暁治や小熊<sup>おぐまひでお</sup>秀雄(旭<sup>あさひたろう</sup>太郎)ら、池袋<sup>いけぶくろ</sup>モンパルナスにゆかりのある芸術家の関連資料も所蔵しています。ぜひご利用ください。



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさん資料があります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

## ぬりえ・ぬり絵・塗り絵

食欲、スポーツ、芸術、読書など…“秋”に結び付く言葉はたくさんありますね。個人的に食欲が捨てがたいですが…今回は芸術寄りの話題です。ぬり絵、幼少時に遊びませんでしたか？



### 📖 ぬり絵とは

線だけの絵を塗っていく遊び、ぬり絵は、その源流を江戸時代に見ることができるようです。当時の木版印刷物に、いたずらがきとして挿絵に色を塗ったものがあり、これがぬり絵のルーツと考えられています。明治時代には学校の図画教育で絵手本に色を塗るという作業が取り入れられ、明治後期には懸賞に使用されたことで流行へとつながったとか。大正時代に入るとぬり絵帳が現れ露店などで扱われ、以後特に女の子の遊びとして定着していったそうです。(①参照)

ちなみにぬり絵の道具としては、クレヨンと色鉛筆が大正時代に発売開始となっています。(②参照)

### 📖 「きいちのぬりえ」ブーム

太平洋戦争を挟んで大衆化の進んだぬり絵には様々な作家がいましたが(「たけしのぬりえ」等、③参照)、特に人気で昭和20年(1945)代～30年代にブームを起こしたのが「きいちのぬりえ」でした。月の発行部数が80万部とも売上が100万部とも言われています。この「きいちのぬりえ」を描いていたのがその名の通り、蔦谷喜一(つたやきいち)です。

蔦谷喜一がぬり絵を描き始めたのは昭和15年(1940)、当初は「フジヲ」という名前で活動していました。翌年から太平洋戦争が始まり、しばらくすると紙もインクもない状況になり、ぬり絵づくりをやめることとなります。昭和18年から徴用工として働き、昭和19年には召集令状がきたため終戦まで海軍に所属。その後は1年ほどアメリカ軍兵士を対象に似顔絵描きをやって、昭和21年から再びぬり絵を描きはじめました。戦時中の話は④で本人の詳細インタビューが読めます。

「きいちのぬりえ」では、少女が三、四頭身で足が太目に描かれ、当時の憧れのライフスタイルや衣服に囲まれている、という特徴があります。川端画学校で日本画を学んだ腕で手を抜かず描かれた絵で女の子たちを魅了したことで、現在も記憶に残るブームとなったのです。

「きいちのぬりえ」、実は今でも復刻版なら購入することができます。最近は大人向けの難しいぬり絵も出ていますし、久しく触れていなかった方、芸術の秋の夜長にいかがですか。

本文で出てきた数字①～④は下記参考文献に対応し、詳細を読むことができます。

### 【参考文献】

- ①『おもちゃ博物館 14』(759/Ta16/14 地下書庫和図書 000033110)
- ②『図説昭和レトロ商品博物館』(675/Ku87 開架一般 060001752)
- ③『歴史民俗学 第24号(平成17年7月)』(380/R25/24 地下書庫和雑誌 160001936)
- ④『日曜研究家 VOL. 13(平成10年10月)』(051/N88/13 閉架雑誌 100026245)  
『ぬりえ文化』(726/Ka53 開架一般 060002841)

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 270

2023年9月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1